



阿南市で活躍する「キラリ輝く」個人や団体の皆さんと市長が対談し、その魅力をお伝えします!

ジャズで輝く 阿南の若き音楽家

市長 ジャズに触れたのは中学校に入ってからですか。

江上さん・佐藤さん はい。

市長 小学校の時は何か音楽をやっていましたか。

佐藤さん 楽器を吹いたりするのではなく、中学校で部活に入らなければならなかった時にジャズバンド部があったので、最初は軽い気持ちで入りました。



徳島ジュニアジャズ楽団
富岡西高校2年生
江上 舞さん



徳島ジュニアジャズ楽団
富岡西高校2年生
佐藤 由衣さん

江上さん 私も小学校に金管バンドがなかったので何も触れてこず、最初は茶道部に入ろうとしていたのですが、新入生向けに歓迎コンサートをしていて、それを見て入りました。

市長 ジャズを吹いていて何が楽しいですか、またどういうところが良いと思いますか。

江上さん 高校で吹奏楽をやっていますが、吹奏楽の方がきつくりして硬いです。だからこそ洗練されてきれいな感じがあるんですけど、ジャズはそれよりもダイナミックでみんな自由な感じがします。もちろん決まっていることもありますが、その中で自分のやりたい表現をそのままでできる感覚が強くて、そういうところが好きです。

市長 ソリストになって1人で目立って吹く時は緊張しますか。

佐藤さん 最初は緊張しましたが、毎年神戸でやっているジャズフェスでソロを吹いた時にスポットライトで照らされて「うわ、めっちゃいい!」となつてからソロが好きになりました。

市長 5月10日の阿南ビッグバンドジャズフェスで客席がいっぱいで立ち見もいた状況でしたが、当日までの気持ちと吹き終わっての感想はどうでしたか。

江上さん お客さんが集まってくれるか不安でした。実際にステージに立った時は「こんなに埋まることがあるんだな」と思いました。終

わった時は「本当楽しかった」の一言で、特に全出演団体100人くらいの全員で吹く曲が特別で楽しかったです。

市長 こんな阿南市になればいいなとかあれば教えてください。

佐藤さん 自然はこのまま残してほしいです。また、「阿南といえばジャズ」というくらいに持つていけたらいいなと思うのと、イベントがある時に「ジュニアジャズ楽団を見るために来ました」という人が増えたらいいなと思います。

市長 これからどのようにキラリと輝いていきたいですか。

江上さん ジュニアジャズ楽団はたくさんの方が関わって作ってくれたもので、長く続くものであり、阿南や地域の人に愛されるような楽団にしていきたいです。与えられたもので満足せず、しっかりと生かして活動につなげられるようにしていきたいです。

佐藤さん ジュニアジャズ楽団をめざして来てくれるファンを増やせるように頑張りたいです。

市長 これからも自信を持ってステージをこなしてジュニアジャズ楽団のジャズを聞きに来る人が増えるように頑張ってください。今日はありがとうございました。

対談の詳細は、市ホームページに掲載しています。

問い合わせ
秘書広報課 ☎22-11110



今を生きる

気付けば、友人が病気になったり、同世代の訃報を耳にしたりする年齢になった。昔は友達と集まれば、恋愛の話で何時間も盛り上がっていたのに、最近は健康や病気の話が自然と増えた。そして帰り際には「健康でおろ



七見町
幸田 明香さん

うことばかりではない。これまでの経験が自信に変わり、生き生きする強さ

になった。

人生はまだ途中。先の心配ばかりして今日を置き去りにしたくない。

「今を生きる」

これからの先を私はまだまだ楽しみにしている。

次は、福村町の須賀千晴さんをお願いします。

少しづつ時間にも心にも余